

同友ぐんま

同友会の活動
はこちらの
QRコードか
らご覧いた
だけます。▶



11

2017年

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

お金をかけずに宣伝する方法

—— プレスリリース勉強会を開催 ——



十月十七日（火）十四時～十六時、同友会事務所会議室を会場に、広報委員会・群馬県よろず支援拠点共催の「プレスリリース勉強会・第一回」を開催。よろず支援拠点のコーディネーターで、同友会の広報委員でもあるセレナーデ・朝岡氏（高崎支部）の提案と、独自イベントの開催を検討していた広報委員会の意向が一致し、企画されました。

勉強会は一ヶ月おきに全三回（十月・十二月・二月）のスケジュールで開催され、自社の商品やサービスを「実際にプレスリリースすること」を目的にし

ています。初開催で会員からの需要も手探り状態ではありませんが、平日の日中開催にも関わらず県内八支部中、七支部から定員を超える参加申込みが届けられました。

第一回目となる今回は、よろず支援拠点、チーフコーディネーター・小畑満芳氏による「プレスリリースの基礎知識」の講義が中心となりました。よろず支援拠点で行っているプレスリリース研究会の資料をもとに、事例を交えて分かりやすく丁寧

に説明した小畑氏。元テレビ局勤務という経歴から「リリースを受ける側の視点」も紹介されました。

これから参加者が作成していくシートは、段階的に自社の魅力や商品PRなどを落とし込める仕様になっており、簡潔にプレスリリースをまとめることが可能。次回以降は他の参加者と意見交換を重ねながら内容をブラッシュアップしていきます。プログラムの最後には宿題も提起され、「聞いて終わりではなく、実際に成果を



出す勉強会」であることが強調されました。

参加者アンケートには「まさに目からウロコ。自分では考えも及ばなかったノウハウが学べた」「丁寧なステップを踏んで進められるので、最後まで諦めずにやり遂げられそう」「次回はもちろん、最終的な自社のプレスリリース完成が楽しみになった」などの感想が綴られていました。

今回は講義中心でしたが、次回は宿題をもとにしたワーク中心のプログラムになります。参加企業の商品・サービスが、新聞やテレビ、雑誌などの各種媒体で数多く取り上げられることが期待されます。

社員の不満解消による改善

高崎支部9月例会

九月二十二日(金)、高崎市総合福祉センターを会場に「高崎支部9月例会」を開催。金属塗装・プラスチック塗装の(株)スギタ、代表取締役・中村徹氏(太田支部)が報告者を務め、「社員の不満解消による改善」現場の声を積み重ねてつくるドリー

ムチーム」をテーマに、自身の経営体験を語りました。中村氏は、事業内容を製品写真や工場動画を使って紹介した後、社員の不満解消①「手袋消

費量削減」について説明。不満を持つ社員からの相談をキッカケに、現状把握・課題と原因のまとめ・目標設定と対策の順に取り組み、その効果として「一年間で七七%の削減に成功。また、新たな節約対象を探し出し、進んで節約に取り組む社員も出始めた」と言います。

社員の不満解消②「生産計画改善プロジェクト」については、中村氏をはじめとする四名でプロジェクトチームを組織し、長時間残業の改善や勤務時間

の平準化などに着手した経過と成果を説明。社員間のコミュニケーション強化、生産計画の見え

る化(製品マスター作成とシステム開発)によって「夢にまで見た定時退社も可能に。月平均残業時間三九%削減、さらに経常利益も上昇した」と語りました。

「売上と限界利益は大きく変わらないが、会社の中身(経常利益)は全く違う」と直近一〇年間



の業績推移を示して参加者に説明した中村氏。最後に「社員の幸せを追求すること。それが会社を経営する唯一の目的。大きな目的のために小さな目標を一段ずつ全力でクリアしたい」と、今後変わらぬ姿勢で経営にあたることを誓いました。

報告終了後は「自社にはどんな社員の不満があるか?それをどう解消するか?」をテーマにグループ討論を実施。「コミュニケーションや信頼関係が土台にないと何をやっても上手くいかない」「小さな改善の積み重ね。一つ一つの目標設定から始めていく」決めたことはスピード感を持って実行に移す。社員への結果報告も大切にしたい」など、活発な意見が交わされました。

「今」・「ここ」がその場

沼田支部9月例会

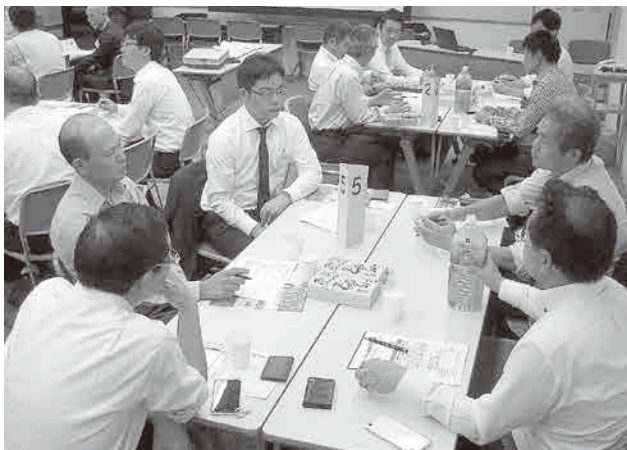
九月十九日(火)に開催された沼田支部例会は、沼田市内の石尊山観音寺を会場に、同寺の五十木晃健住職が「自己破産から仏門へ」と題して、困難から立ち上がった自身の経験と心の在り方について講演しました。

太田市で自動車関連の製造業を営んでいた父の会社を継い

だものの、結果的に倒産させてしまったと語る五十木氏。全てを失い仏門へと進む経緯や長く辛い修業時代、さらに大病を患った過去などを赤裸々に語り、その都度誰かに出会い、そこから学びを得てきたことを時系列で紹介しました。

一瞬が未来の自分を創る」と語るその言葉は、自身の講演内容が裏付けとなって説得力を増し、参加者の心に届いたことでした。

参加者アンケートには「言葉は自分に返ってくると言うのはその通りだと思う。前向きな発言をしていきたい」「禅の考え方は経営に通じる部分も多い」「お寺での例会は雰囲気もありとても良かった」といった感想が綴られていました。



意外と難しくない経営計画

太田支部9月例会

太田支部では九月二十一日（木）、休泊行政センターを会場に、会計業務全般を行う（有）真下会計事務所、専務取締役・眞下康久氏が「意外と難しくない経営計画」と題して、自社での計画作成の事例などを交えて報告しました。

「経営計画書は社員のために作るもの。社長が進む方向を社員に理解してもらい、具体的な方法を説明する書類である」と



自身の捉える経営計画書の本質を解説した眞下氏。さらに「会社の大小に関わらず、身の丈に合った計画作成が重要」と訴えました。これは、立派な計画を作ろうとして失敗した会社を数多く見てきた眞下氏の経験談でもあります。「まず必要なのは経営者の意識改革から」と言います。

計画作成においては、目的と目標・戦略と戦術の理解と整合性、定量（数字）と定性（数字以外）の判断手法、必要利益を算出するための税引き後利益、減価償却費など、事前に整理しておくべき事項を説明。さらに計画書の最終的な到達点を「行動計画と財務計画を両輪で回し、自己資本比率を向上させること」としました。

作成した計画書の運用では、自社での取り組みを事例に「計画書ルールブック。電話の出方や挨拶の仕方まで細分化して記載している」と紹介。また、最も困難とされる社員の数値管理については「全員が独自



の目標数値を持ち、自分で管理してもらうのが安定運用のカギ」としたうえで、「目標数値の設定はハードル競争と同じ。飛べる高さを連続で設定することが重要」と語りました。

最後に「毎月の進捗確認が一番重要なポイント。経営計画に完成形はなく、やっつは修正の繰り返しが大切。この繰り返しで社内の良い習慣になり、企業文化となつて次世代への大きな贈り物になる」と締め括りました。

参加者アンケートには「社員のためという切り口は分かりやすかった」「同友会の経営指針づくりとリンクした内容で、今後の指針づくりへの参加者増に繋がりそう」といった感想が綴られていました。

納涼会で近況報告

桐生支部9月例会

九月二十七日

（水）、和膳たつきを会場に桐生支部9月例会を開催。前月が通常例会だったことから「ちよつと遅めの納涼会」として企画され、会員同士が楽しく飲んで語り合う、たいへん賑やかな懇親の場となりました。



開会挨拶で花房支部長は「今年度から例会担当制をスタート。自社課題の解決に向けた同友会らしい例会づくりが皆さんの協力で出来ているように思う」と上半期の支部活動を回顧。納涼会の中盤からは、恒例となっている「参加者全員の近況報告会」が行われ、自社を取り巻く経営環境や経営課題、新たなチャレンジや事業構想など、各自が近況を順番に語っていきました。一人三分の短い持ち時間ではありましたが、

が、十人十色、悲喜交々のエピソードが盛りだくさんでした。例会終了後には、乗り合わせで街に繰り出し二次会へ。高級なウイスキーとは露知らずにガバガバ飲んだ結果、予想以上の支払金額になったとか。次はちゃんと確認してから飲みましょう。

働き方改革を実現するには!?

九月十九日(火)、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部九月例会」を開催。石原労務管理事務所、代表・石原慎二氏(伊勢崎支部)が報告者を務め、「働き方改革を実現するには!?」具体的な取り組み内容と、その注視点について「をテーマに、問題提起を行いました。

石原氏は、首相官邸HPにおけるバナー掲載や基本方針の文

面などから「政府が働き方改革の実現に力を入れているのは明らか」としたうえで、「働き方改革実行計画書」「ニッポン一億総活躍プラン」などの関連資料を細かく説明。その基本的な考え方として「労働人口の減少を労働生産性の向上で補い、日本経済に好循環を生み出そうとするもの」と語りました。

なかでも特に重要とされているのが「長時間労働の是正」と「同一労働同一賃金の実現」。

これまでの労働時間法政策や総実労働時間の推移、現行の労働時間制度、諸外国のフルタイム労働者とパートタイム労働者の賃金水準などを紹介し、働き方改革におけるポイントを具体的に示しました。

最後に報告のまとめとして「同一労働同一賃金が不完全であっても、合理性を

伊勢崎支部9月例会



持たせることが大切」「賃金(待遇)の決定を客観化・透明化して、しっかりと説明できるようにする」「正規・非正規社員を問わず、キャリア向上(教育)の制度をつくる」など、企業が取り組むべき今後の課題を丁寧に説明しました。

報告終了後は「自社では働き方改革にどう取り組みますか?」をテーマにグループ討論を実施。「問題は山積。今から本気で対策を考えなければならぬ」と痛感。「労働生産性の向上、評価基準の明確化に力を入れていく」「現実とのギャップはあるが、労使が納得のうえで着実に前進させたい」など、活発な意見が交わされました。

私が思う経営理念の意義

渋川吾妻支部9月例会

九月二十一日(木)の渋川吾妻支部例会は、「小さな会社と自営業者に贈る経営理念と経営方針の話」と題して、同支部の初代支部長をつとめた(株)群馬サイクルスポーツセンターの石田会長が報告しました。

石田氏は、二十二年前に成文化したという(有)オート企画パッ

クアール(当時社長)と、群馬サイクルスポーツセンターの経営を引き受ける際に成文化した同社と、二社の経営理念を参考資料として配布。それぞれの理念に込められた思いを語るとともに、小さい会社での経営理念の意義について自身の考えを披露しました。



「経営理念とは、経営の根本的な考え方を明示するもの。この成文化がすべての始まり。経営者の夢、希望、哲学、ゆずれない考え方である」と石田氏は語り、「同友会会員たるもの経営理念はもちた。先輩のアドバースと『経営指針の手引き』があれば成文化できる。まずは経営者自身のためにつくるべき」と示唆しました。

青全交in茨城・凱旋報告

前橋支部9月例会

前橋支部では九月二十日

(水)、前橋市中央公民館を会場に、青年経営者全国交流会in茨城にて分科会報告を行ったばかりの(株)プランニング、代表取締役・町田英之氏が「情熱だけでは動かない！ エネルギーを無駄なく推進力に換えるには」前橋Ver」と題して凱旋報告

を行いました。

本題に入る前に、報告者紹介を兼ねて(株)エスティビー・杉崎社長が、青全交当日の様子を写真を中心に紹介。参加出来なかった会員に向けて全国大会の様子を伝えました。

青全交での報告に向け何度もプレ報告を行い、その都度ブラッシュアップされてきた町田氏の報告

は、経営指針書をもとにした具体的な取り組みが随所に見られ、参加者それぞれが自分の会社と比較し、イメージしやすい内容でした。

参加者アンケートには「冷静で情熱的な経営者ということが伝わってきた」「自社と比較し、たくさんヒントを見いだせた」「いつかは三代目へのバトンタッチの話も聞きたい」といった感想が記されていました。

社員面談のやり方、富岡でも

富岡支部9月例会

「誰も教えて

くれなかった社員面談のやり方」たった八つの質問で社員の本音もやる気も引き出す！」を

テーマに、富岡支部でも九月例会としてN's

Peductionの高屋敷奈央氏(前橋支部)を迎え、講義やペアワークを通して学び合いました。

高屋敷氏は

「仕事において、あなたの目標は何ですか?」「その目標が達成できた、どうしたら実感できますか?」「その目標はいつ、どこで、誰と達成したいのですか?」など八つの質問について、その意味や効果を含めて説明しました。

参加者からは「さっそく実行したい」「賞与支給の際の面談



に取り入れたい」などの声が相次ぎました。

また他支部で高屋敷氏の講義を聴き、既に実践した経営者からは、「面談らしくなった。社員からも今までとは違う前向きな発言を多く聞くことが出来た」と、その成果も披露されていました。

キーパー財務17・経営羅針盤17



財務の力を経営の力に

キーパー経営羅針盤17なら、会社でも自宅でも自社の財務状況をリアルタイムに把握し、チェックすることが可能です。

同友会 高崎支部会員

株式会社 シスプラ

http://www.syspla.co.jp/
0120-638-377

群馬県高崎市間尾町3-10-3 間尾町センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313

アルミ精密部品の切削加工メーカー

有限会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2

TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059

URL: http://www.apm-f.com E-mail: fuse@apm-f.com



システム開発から運用まで、一貫した対応で課題解決！



(株)エス・アイ・エス

代表取締役 佐藤 広 氏 (福岡支部所属)

Q & A

▼会社紹介

当社は昭和六十年に個人創業しました。平成二年に有限会社を設立、平成八年に株式会社へ改組し、今日に至っています。

様々な情報管理システム等、ソフトウェアの開発を中心に、ホームページ制作やeラーニングコンテンツ制作、関連機器の設置販売・メンテナンスも行っています。

経営理念の第一項に「我々は、ソフトウェア創造のプロフェッショナル集団として技術とアイデアと真心をもって顧客の満足するソフトウェアとサービスを提供し、地域社会の発展に貢献する会社を目指す」と謳っており、お客様の要求事項実現と課題の徹底解決につとめています。

▼自己紹介

私は情報処理の学校を卒業後、高崎市内の会社へ就職しました。そこでは客先へ出掛け、オペレーション業務に携わっていましたが、窓もない仕切られた部屋でコンピュータの大きな音だけが響く環境に耐えきれず

退職。その後は父と農業に従事していました。

しかし、小規模な農業での収入はあまりにも少なく愕然としました。「一生懸命働いたところで、これじゃこの先やっていけない」と思いながら、「働くって何？何のために働くのだろう？」と、真剣に悩みました。そしてあるとき「そうか、他人楽だ！」と直感しました。二十三歳のときでした。その後、二十五歳で創業しましたが、それ以来、この「他人楽」という考え方が私の根底を支えています。

同友会には大五建設の小井土さんの紹介で平成三年に入会しました。入るとすぐに「経営理念をつくったほうがよい」と小井土さんに促され、すぐに成文化したのが現在の理念です。



▼イチオシの「強み」は？

小さなソフト会社は、大手の下請でプログラムを組んでいるところが比較的多いのですが、それはそのほうが一定の仕事量が確保されるため、経営が安定するからです。

一方、当社は「最初から最後まで」が強みです。つまり、お客様の要望をきちんと把握することから始まり、提案・設計・開発・試験・導入支援・保守まで。そのためには一通りの能力を兼ね備えていないと出来ません。当社にはSIベンダーとして三十余年の豊富な業務ノウハウが蓄積されているほか、国家資格保有の技術者が多いので、ご要望に添った対応はもちろん、その一歩先の提案も可能です。



す。

また当社で開発したパッケージソフトをお客様仕様へカスタマイズすることで、ローコスト化を実現することも出来ます。カタチのないものをつくるのは大変ですが、何と言っても導入後のお客様の笑顔は、私たちのやりがい・働きがい、そのものです。

▼今後の展望は？

私は六十五歳を目途に社長を退き、生え抜きの社員に社長を引き継がせたいと考えています。そのため経営者感覚を持たせようと意識して接しているところです。

刻一刻と変化し続けるコンピュータの世界。システムを導入することで解決できる課題は、まだまだ山のようにあると考えられます。これから「お客様の課題解決」をお手伝いする身近な存在として常に技術の向上と人格の向上を目指し、地域社会に貢献していきたいと思います。何か困ったことがあれば、お気軽にご相談ください。

所在地／福岡市星田632-1
連絡先／TEL0274-63-0466
URL／<http://www.sis-jpn.co.jp/>

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【太田市に10万円寄付】

(株)アミイダ

自動車部品などの研削加工を手掛ける(株)アミイダ(代表取締役・阿久戸洋希氏、専務取締役・阿久戸英男氏／太田支部所属)は26日、群馬銀行の「ぐんぎん地方創生私募債」を活用し、市に10万円を寄付した。市役所の贈呈式で阿久戸社長は「有効に使っていただきたい」と述べ、清水聖義市長に目録を手渡した。寄付金は市美術館・図書館の雑誌購入費に充てられる予定。清水市長は「皆が喜ぶよう役立たせたい」と感謝した。同私募債は、企業が発行した私募債額の0.2%分を、同行が自治体や学校に寄付する仕組み。同社は5千万円を発行した。[9/27付上毛]

【来春、新結婚式場開設】

(株)メモリード

冠婚葬祭互助会大手の(株)メモリード(業務役・大山充氏／前橋支部所属)は18年4月、新結婚式場の「ヒカリフルコート」(高崎市上大類町)を開設する。同社のグランドパティオ高崎敷地内の一角を「町」に見立ててハウスウエディング会場としてオープンするもので初年度120組の挙式を目指す。1日2組限定。

また9日、グランドパティオ高崎敷地内にあった貸衣装店が主要地方道高崎・駒形線沿いに新ブランドのドレスショップ「ラリュール」として新装オープンした。国内ウエディングドレス業界をリードする山城葉子氏がプロデュース。山城氏がデザインした新作20着を含め全100点を用意している。オープン記念として11月23日、グランドパティオ高崎本館で新作ドレスフロアショーを開催する。[9/28付ぐん経]

【カーペット洗浄の廃液処理】

(株)グンビル

清掃管理、産業廃棄物処分業の(株)グンビル(代

表取締役・高野こずえ氏／太田支部所属)は、カーペットクリーニングの「廃液処理装置」を開発、17年2月に実用化した。同社はもともと、化学物質を多量に含む床ワックスの剥離廃液処理技術を持っており、同廃液の無害化に成功。処理後に残った固形分もペレットにして再利用するなど独自の処理システムを確立している。今回のカーペット洗浄の廃液処理装置は、剥離廃液処理技術をベースに開発したもの。群馬分析センターでの処理前・処理後の水質検査でも、浄化槽への排水基準値をクリアしている。

高野社長は「洗浄廃液は自然には返らない。適切な処理をしないと環境に負荷がかかることを、もっと知ってもらい、お客さんとともに処理方法を考えていきたい」と話している。[10/5付ぐん経]

【代表取締役会長就任】

ハトリバンテック(株)、代表取締役・羽鳥基宏氏(伊勢崎支部所属)は、この度、「代表取締役会長」に就任しました。

【会員登録変更】

伊勢崎液化(株)(伊勢崎支部所属)では、この度、「代表取締役・小倉詳二氏」に会員登録を変更しました。

【取締役会長就任】

関東防災工業(株)、宮崎精一氏(前橋支部所属)は、この度、代表取締役会長を退任し、「取締役会長」に就任しました。

【常務取締役就任】

(株)丸山機械製作所、取締役製造本部長・谷口秀和氏(高崎支部所属)は、この度、「常務取締役」に就任しました。

安全と安心のトータルソリューション

KB 関東防災工業株式会社

～消防設備と電気設備の設計・施工・保守、消防用品の販売に加え
雷が落ちない本当の避雷針(PDCE)の販売、防災コンサルティングまで～

◆本 社／前橋市高井町一丁目29-7
TEL:027-251-3535 FAX:027-251-3540

◇安中営業所／安中市西上磯部1736
TEL:027-385-5261 FAX:027-385-5291

部品加工の 株式会社 **マテハン**

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が来ました。
好評「部品加工のマテハン」

URL: <http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail: mtmh@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562

これからもお客様の信頼を糧に

私たちはできること。
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお勧めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。



JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: <http://www.jp-t.co.jp>

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25



第6回 理事会報告

日時 十月三日(火)

十八時三十分

会場 同友会事務所

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事／山岸、澤浦、田村、提著、相沢、常任理事／吉池、町田、生沼、平岩、中澤、小林、宮石、榎原、阿久戸、宮田、植杉、理事／杉崎、本多、丹羽、島山、布施、星野、笠原、櫻井、事務局／黒岩、阿久澤、竹内(役員計二十四名)

【議事】

提著副代表理事が議長をつとめ、澤浦代表理事挨拶のもと、第六回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 支部・部会・委員会報告
各組織代表者より、報告や案内連絡等がありました。

2. その他

○先ごろ開催された児童養護施設見学会、及び県内全施設職員との情報交換会の模様が参加者より報告されました。

○九月に茨城で開催された青年

経営者全国交流会の報告が参加者より、そして分科会報告者と座長をつとめた町田氏・阿久戸氏より感想が述べられました。

○共愛学園前橋国際大学で後期授業の一つとして始まった「企業人オムニバス講座」の様子が紹介されました。

II. 承認事項

1. 理事会への提案事項について
町田氏より二つの意見提案がありました。これについては次回理事会で時間をとって意見交換を行う運びとなりました。

2. 経営研究会について
十二月二日(土)に高崎で開催される今年度の経営研究会について、動員目標やグループ長選任数など、進捗状況等が中澤実行委員長から報告され、これを承認しました。

3. 県労働政策課からの依頼事項について
県労働政策課より、「女性活躍・働きやすい職場環境づくりプロジェクトチーム委員」、ならびに「生涯現役促進地域連携

事業協議会委員」の依頼があった旨報告があり、これを承認しました。

4. 新年度役員選考方法の確認
新年度役員選考に向けてのスケジュールが確認されるとともに、各支部等へ理事候補者の推薦が依頼されました。

5. 入退会者承認と仲間づくりについて
前回理事会以降の入会者二名、退会者四名を承認。会員数は五四七名となりました。

III. その他

1. 次回の理事会開催日程
第七回理事会を左記の通り開催することが確認されました。
日時：十一月七日(火)
十八時三十分より

会場：同友会事務所・会議室

尚、理事会終了後、第二回仲間づくり委員会が開催され、各支部の状況を確認し合うとともに、理事会から委嘱された同友会のポスター制作について検討しました。

新会員 ご紹介

10月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

前橋支部

かわはら整骨院パーソナルトレーニングラボ 〒371-0046 前橋市川原町1-27-3

TEL : 027-257-0489

FAX : 027-257-0489

整骨院・パーソナルトレーニング

ウォーキング、自転車

【紹介者/事務局】



代表
入澤 達也
S39年生

当院は、整骨院とパーソナルトレーニングラボという2つの顔を持っています。整骨院では体の痛みを解消し、さらにパーソナルトレーニングで個人の持つ力を最大限に上げることで、心身共に健康になり、生活を豊かにすることができると考えています。

高崎支部

(有)エスケーメディカル 〒370-0081 高崎市浜川町1741-1

TEL : 027-343-4193

FAX : 027-343-1336

調剤薬局、医療コンサル

ゴルフ、野球

【紹介者/都丸 剛】



取締役
桑 子 光
H1年生

当社は調剤薬局の経営をしています。現在群馬県内は4店舗ですが、今後はさらに店舗数を拡大していきたいと思っています。同友会を通じて様々なことを学び、交流を深めて成長していきたいと思っています。今後とも末永くよろしくお願いいたします。

アルマイト、各種メッキ、各種塗装、黒染、アッセンブリー
ダイカスト・鋳物の含浸処理をはじめました

鉄・ステンレス・アルミ・プラスチックetc...あらゆる素材に対応

上毛電化 株式会社

ISO9001認証取得 エコ・アクション21認証取得

〒375-0056 群馬県藤岡市三ツ木336-6

TEL : 0274-24-3228 FAX : 0274-24-4841

URL : <http://www.alumite.jp/> E-mail : joumou@vesta.ocn.ne.jp

営業担当：井坂、永井 表面処理のご要望は何でもご相談ください。

S/S 株式会社 エス・アイ・エス

企業の様々な課題をコンピュータシステムで解決！
(自動化、効率化、見える化、高速化)

★システム化事例

生産管理、工程管理、ガントチャート工程管理、在庫管理、原価管理、調達管理、図面配布管理、計測器貸出管理、販売管理、工事書類一括作成、耳標管理、安否緊急通報、ルート配達管理、他

ソフトウェア、ハードウェア、ITサポート、ITコンサル、IT環境構築

お気軽にご相談ください。Tel: 0274-63-0466

〒370-2312 富岡市星田632-1 <http://www.sis-jpn.co.jp/>